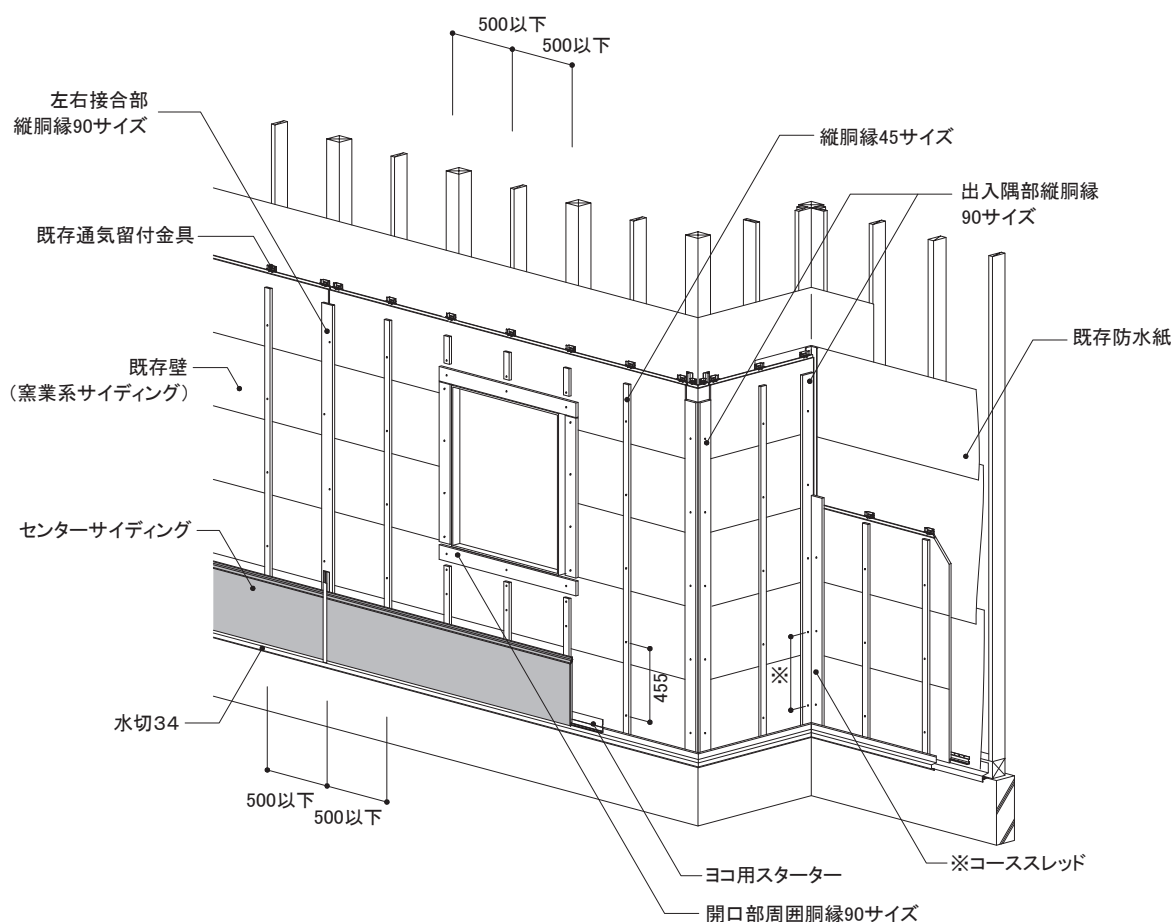


センターサイディング	工 法	下 地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	窯業系サイディング 横張り 通気金具施工	横	縦胴縁 @500mm以下

1) 基本構成図・下地組図

- 木胴縁は、スギ材は厚み18mm以上、ベイツガ材は厚み15mm以上の乾燥材を使用します。
 - 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、出入隅部や左右接合部、開口部まわりなどの指定個所には倍幅の90mm以上を使用します。
 - 木胴縁を留め付ける前に、既存の窯業系サイディングの不陸状態を確認します。木胴縁は不陸調整材などを使用し、コーススレッドで留め付けます。(不陸調整方法:P34参照)
- ※既存の窯業系サイディングにより、木胴縁の施工方法が表のように異なります。
- コーススレッドは締め過ぎると不陸になります。水糸などで胴縁表面の不陸を確認しながら施工してください。



※既存窯業系サイディングに応じた胴縁の施工方法

既存窯業系 サイディング	留付材	
	一般部(躯体部)	入隅・開口部等(既存サイディング部)
モエンエクセラード	コーススレッドφ4.5mm×90mm @455mm	コーススレッドφ3.8mm×38mm @455mm
モエンエクセラード以外		コーススレッドφ3.8mm×38mm @働き幅455mmに対し2本留め